

どうなつとうと？個人質問

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。

A 上程された太宰府市長等政治倫理条例案には盛り込まれていない条項があるため、今後の政治倫理のあり方について2点伺う。

(1) 資産公開について
① 市長の資産公開については条例があり、議員には規定がない。市長と議員の資産公開の扱いの違いをどのように解消するのか。

② 資産公開に対する市民からの調査請求に関する規定がないが、どう実効性を持たせるのか。

(2) 政治倫理条例が市長と議会とで別々の条例として規定されているが、今後も別の扱いとするのか。

(1) ①既存の「政治倫理の確立のための太宰府市長の資産等の公開に関する条例」、「太宰府市議会議員政治倫理条例」、そして今回上程

まちづくり計画がなく、公共施設の統廃合や将来設計が未定であることが課題と考える。

長期的な視点に立ち、都市計画のルールを定め、土地利用や市街地開発を総合的に計画・実行し、安全で暮らしやすく魅力的なまちづくりを実現するため3点伺う。

①福岡県保健環境研究所 跡地の取得について

②佐野東地区の区画整理について

③(仮称)JR太宰府駅の設置について

A ①保健環境研究所 跡地は、まず県で跡地利用を検討されるものと考えています。本市は状況を注視し県と緊密に連携していく考えです。

②佐野東地区のまちづくりは、民間施行による土地区画整理事業を基本とし、土地所有者等の動向



問 持続可能な
まちづくりの実現へ



①地域公共交通再編時に
おける、住民の生活支援
と居場所・出番確保の重
要性について

②西鉄五条駅前の再編と
市街地活性化に向け、バ
スやタクシーが果たす役
割と位置づけについて

③隣接自治体へ相互のコ
ミュニティバスやデマン
ド交通の乗り入れの可能
性について

④デマンド交通の導入や
バスの減便が不可避とい
う事態に直面し、脱炭素
社会の実現にはどのように
取り組むのか。

A ①現在策定中の地
域公共交通計画で
は、住民も訪問者も使い
やすい地域公共交通の構
築を基本としており、総
合戦略との整合や連携を
図ります。

②太宰府市立地適正化計
画の今後について
4点伺う。

Q 大野城市、春日市
に比べ、都市機能の充実において後れを取つてお
り、特に予算規模と人口
において差がある。

本市の筑紫地区内での位
置付けや評価、今後のま
ちづくりの方向性につい
て3点伺う。

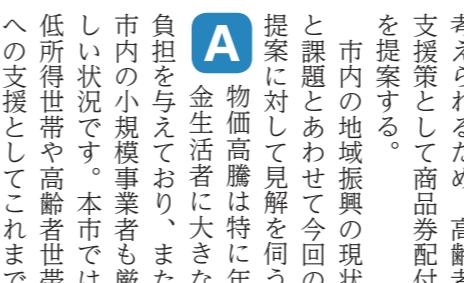
①一般会計の予算規模の
差が他の3市に対して縮
まらない要因について
②本市が人口10万人規模
の都市を目指していない
理由について

③市街化区域の高度利用
や市街化調整区域の有効
活用に関する方針につい
て

A ①予算規模の差は、
人口差が一因です。
しかし予算規模が直接的
に住民サービスに比例す
るわけではなく、効率的
な行政運営や地域特性を
活かした施策で質の高い
サービスを提供すること



問 太宰府市の未来に向けた
都市像と課題



しにより、令和7年10月からふるさと納税ポータルサイトでの「ポイント還元」が原則禁止となつた。これまでのポイント付与は寄附促進に寄与していたが、廃止により寄附額の減少や返礼品事業者への影響が懸念されるため、市の対応方針について3点伺う。

①本市のふるさと納税実績の現状と推移。

②ポイント付与廃止による影響の見通し。

③今後の展望について

①平成29年度から令和5年度まで順調に増加しています。令和5年度から令和6年度にかけては、ふるさと納税制度改正の影響で減少しましたが、各種取組の成果により、全体的には大幅に受入額が増加しています。令和6年度は約14億7千万円となつてい

今泉 義文 議員

し、特に年金生活を送る高齢者世帯に大きな影響を与えている。生活必需品や光熱費などの値上がりに対し、年金額が追いついていない現状がある。これに対し、高齢者世帯に対する物価高騰の影響とその対策の現状を伺いたい。

また、商品券の使用は地元商店街や小規模事業者への消費を促進し、地域活性化にもつながると考えられるため、高齢者支援策として商品券配付を提案する。

